

教科	出版社	採択理由
社会	日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> ・児童がイメージを持って学習に臨むことができるように、児童が自分たちの地域を想起したり自分の生活とつなげて考えたりしやすい教材が充実している。 ・様々な視点で事象を捉えることができるように、複数の関係する人々の資料が多く示されている。 ・問題を解決するための見方・考え方や情報を活用する力の土台づくりとして、「問い→調査→対話→まとめ」の単元構想になっており、本校の授業展開に適している。 ・基礎的・基本的な知識の確実な習得を図るために、索引に多くの用語が示されている。 ・「位置や空間的な広がり」「時期や時間の経過」「事象や人々の相互関係」に着目できるように「見方・考え方」コーナーが各単元で示されている。 ・中心資料が明確にわかるように紙面に位置づけていたり、複数の資料を比較できるようにレイアウトが工夫されていたり、資料の読み取りがしやすい工夫がされている。